

12th International mRNA Health Conference への参加報告

理学研究科理学専攻 物質・生命化学領域

生物有機化学研究室 博士後期課程 3 年 Meng Zheyu

【出張先・出張期間】

ボストン・アメリカ

2024. 11. 11-2024. 11-14

【出張目的】

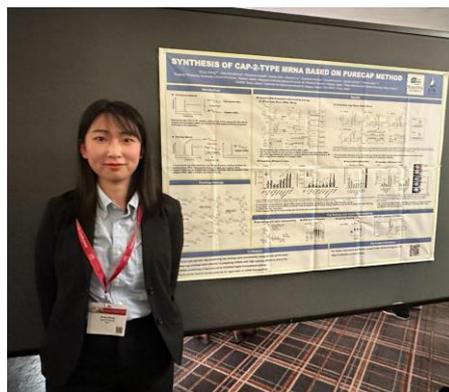
12th International mRNA Health Conference (11. 12-11. 14) への参加及びポスター発表と学会参加者とのディスカッション

【概要】

研究室で開発した「PureCap 技術」に関するポスター発表を行いました。学会では世界中の研究者による mRNA 医薬の最先端研究や、企業からの製造技術に関する知見に触れることができ、大変有意義な経験となりました。

【所感】

今回の発表を通じて、研究室で開発した PureCap 技術が、研究者だけでなく企業の方々にも関心を持たれる可能性があることを実感し、大きな励みとなりました。他の研究者の発表から、mRNA が持つ多様性や広がる可能性を再確認し、自分の研究の意義を見直す貴重な機会にもなりました。特に、2023 年ノーベル生理学・医学賞を受賞したカリコ博士とワイスマン博士のスピーチには深く感銘を受けました。彼らの業績については



以前から知っていましたが、直接スピーチを聞くことで、研究者としての信念や目指すべき姿勢に新たな気づきを得ることができました。特に「新しい治療法の実現」に向けた彼らの強い意志と、数々の困難を乗り越える情熱は、私にとって理想的なロールモデルです。

さらに、この学会は博士課程修了後の進路について考える良い機会となりました。基礎研究だけでなく、企業での応用研究や製品開発といった選択肢も視野に入れる必要性を感じています。学会で出会った研究者や企業関係者の多様なキャリアパスを知り、mRNA 研究が学術的探求だけでなく、社会的価値を持つことを改めて認識しました。この経験を通じて、研究者としての道をさらにしっかりと歩む覚悟が固まり、今後のキャリアを前向きに模索していきたいと思えます。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった阿部洋教授と、旅費をはじめ多方面でご支援いただいた GTR 学生支援室の皆様にご心より感謝申し上げます。